



【学校教育目標】自ら考え、判断し、人と共により良く生きようとする心豊かな子供の育成

いよいよ12月。最後の月を迎えました。市内の学校では依然として猛威を振るっているインフルエンザですが、本校でも、ここにきて徐々に増えています。今後の状況を慎重に見極めていかなければと感じているところです。各御家庭におかれましては、うがい・手洗いの励行に加え、マスク着用など引き続きお子さまの体調管理をお願いいたします。



言葉の大切さ

さて、そのような状況ではありますが、本日は全校集会（換気、できる限りマスク着用、間隔を空けて整列）を行いました。その中で、いつものように校長講話と生活目標について話をしました。



校長講話では、12月のテーマを「確かめる」とし、学習時間中の振り返りと同じように、学校生活全般において、これまで続けてきたことがどれくらいできたかを考え直してみることを促しました。

さらに、それだけでなく、残りの2学期、そして次の学年に向かう新しい年、3学期をしっかりと過ごすためにも、「友達と助け合い」、「協力し合うこと」ができるようになってほしいと伝えました。そのために、2つの点について話しました。1つ目は、「自分から行動する」ことで、友達に声をかけたり、友達のことを大切に思って行動したりすることの重要さです。



そして、2つ目が、「言葉の使い方」についてです。私が伝えたかったことは「言葉が人に与える力」についてです。言葉は、ときに刃となり、人を傷つけます。そして、ときに救いとなり、人生を支える力にもなります。子供たちは、はさみやナイフなどの刃物を使うときは、それが危険なものだと知っているからこそ注意して使います。しかし、言葉を使うときはどうでしょうか。相手を傷つける可能性があることを理解して、注意して使っているのでしょうか。今の子供たちの日常会話を聞いてみると、怖くなる時があります。



言葉は、相手の内側（心）に直接届くものだからこそ、意図せず傷つけてしまうこともあるし、思いがけず守り救うときもあると思います。だからこそ、その使い方をしっかりと考えてほしいと願っています。もちろん、相手に伝える言葉だけでなく、自分自身に向ける言葉も同じだと思います。「どうせ私なんて…」ではなく、「よく頑張ったね」と自分をねぎらったり励ましたりする言葉を使って、自己肯定感を高めてほしいと思います。

「ひとのことば」	北原白秋
ひとつのことばで	けんかして
ひとつのことばで	なかなおり
ひとつのことばで	頭が下がり
ひとつのことばで	心が痛む
ひとつのことばで	泣かされ
ひとつのことばで	楽しく笑い
ひとつのことばは	それぞれに
やさしいことばは	もつていて
やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に

なかよし集会

明日12月3日に予定していました「なかよし（人権）集会」は、インフルエンザ感染拡大防止のため「延期」します。また、4日に計画していた「4年生社会科見学」も同様に「延期」いたします。新たな日程につきましては、あらためてお知らせいたします。御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

子供たちを守るために

昨年度も同じ記事を書かせていただきました。子供たちが楽しみにしている年末年始の行事が近づいてきました。子供たちにとって、クリスマスプレゼント、お正月のお年玉など、いつもとは違った高価な金品を手にする機会ではないでしょうか。今の時代、そのタイミングで「タブレット」や「PC」、「スマートフォン」なども例外ではないような気がします。

そこで、下の文章は、先日の教育講演会の「ゲーム脳」「依存症」「幼児性」とも関連があるかもしれません、随分前に、全世界で話題になった、「ケータイ・スマートフォン等を使うための『18の約束』」です。アメリカ・マサチューセッツ州に住むお母さんが13歳の息子にiPhoneをプレゼントとしてあげたときにわたしたもので、iPhoneの箱にはその使用契約書が入っていました。その内容には気付かされることがありますので改めてお伝えします。以下の内容がお母さんの作った使用契約書です。

息子へ

※訳文のため、多少表現に差があります。

あなたは今日からiPhoneを持つことができます。やったね！あなたは責任感のある利口な13歳なので、このプレゼントはあなたにふさわしいと思います。しかし、このプレゼントを受け取ったからにはそれなりの約束を守ってもらいます。これら18個のことが守れないようならすぐにiPhoneをとりあげます。



- ①これは私のiPhoneです。私が買って、あなたに貸してあげています。
- ②パスワードは常に私に報告してください。
- ③これは電話です。鳴ったらマナーを守って必ず出てください。
- ④学校のある日は午後7:30に、週末は午後9:00に親にiPhoneを渡してください。
- ⑤学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。
- ⑥もしトイレに床に落として破損、紛失した場合は、修理費用は自己負担です。
- ⑦嘘をついたり、人を馬鹿にしたりするためにこのテクノロジーを使わないこと。
- ⑧面と向かって言えないことをメールしてはいけません。
- ⑨友だちの両親の前で言えないようなことをメールでしないこと。
- ⑩ポルノ禁止。情報は私の共有。知りたいことは私かパパに聞くこと。
- ⑪公共の場では電源を切るか、マナーモードにしなさい。
- ⑫他人のプライベートな写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいです。
- ⑬膨大な数の写真やビデオを撮らないでください。すべてを記録する必要はありません。自分自身の体験を大切にしなさい。体験は永遠に残るものです。
- ⑭ときにはiPhoneを家に置いて行きなさい。携帯は生き物でもあなたの一部でもありません。これなしでも暮らしていける。器の大きい人間になりなさい。
- ⑮いい音楽をダウンロードして聴きなさい。視野を広げなさい。
- ⑯ワードゲームやパズル、知能ゲームで時々遊びなさい。
- ⑰上を向いて歩きなさい。周囲の世界に目を向けてなさい。会話をしなさい。グーグルに頼らないで探し求めなさい。
- ⑱問題があるようなら、iPhoneを没収します。もう一度話し合い、はじめからやり直しましょう。あなたと私は常に学んでいるチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

これらの約束を守ってくれることを願っています。これらはiPhoneだけでなく、人生にも通じることです。あなたは早く変わり続ける世界のなかで成長していきます。あなたを愛しています。

母より

スマホやゲームへの依存、生活リズムの乱れ、LINE等による友達の誹謗中傷や仲間外し等、不登校、ひきこもり、デジタルタトゥー、出会い系による被害、・・・年々、問題は深刻化しているような気がします。

すでにスマホを与えられている御家庭もこれからの御家庭も、家庭でのルール作りの参考になればと思います。